

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

当院における急性白血病に関する治療成績・予後に関する解析

2. 研究の対象患者

2014年4月1日から2024年9月30日までの期間に当院にて急性白血病と診断された方

3. 研究の対象期間

2014年4月1日～2024年9月30日

4. 研究の概要

急性白血病は造血器悪性腫瘍の中で代表的な疾患であり、造血幹細胞に遺伝子異常が生じ、分化能を失った異常な芽球（白血病細胞）が単クローン性に増殖する疾患である。

急性白血病治療の基本は、伝統的に強力化学療法により寛解導入を図り、地固め療法で出来る限り腫瘍量を減らし、予後不良群ではさらに骨髄移植に代表される同種造血幹細胞移植を行うことで治癒を目指していくのが従来の治療目標であった。急性白血病に対しては近年様々な新薬が登場し、一部の疾患では重篤な合併症を生じうる同種造血幹細胞移植を回避できる可能性が示唆されるようになった。また新薬の登場で強力化学療法が適応とならず、対症療法しか行えなかった高齢者や合併症を有する白血病患者にも化学療法の恩恵を受けることができるようになった。このように急性白血病を取り巻く状況は変化しており、予後の改善が報告されている。当院でも白血病に対する新薬は積極的に導入しているが、当院においても過去の症例と比較して予後が改善しているかは不明である。今回我々は当院における急性白血病に対する治療の現状、予後を後方視的に解析し、既存の報告と比較することで当院における治療の課題を抽出し、さらなる治療成績および予後の改善を目指すことを目的に本研究を計画した。

5. 研究実施予定期間

2024年12月5日～2024年12月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

被験者背景：性別、年齢、既往歴、合併症、前治療歴

血液検査：血算、AST、ALT、LDH、ALP、T-bil、BUN、Cre、CK、CRP

画像検査：治療開始前CT/レントゲン所見および検査日

治療内容および転帰：化学療法投与日、治療効果、再発日、次治療およびその開始日、最終転帰およびその日付、有害事象およびその発現日

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の評価に関する知見が得られた場合でも、研究対象者(又は代諾者)個々に結果説明することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：血液内科 清水 亮

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)